

調布 WAT の協力先について

カディンちゃんの  
足型の  
クリスマスカード



① アエタの子供たち 355,000 円

フィリピンのピナツボ山の麓、山の奥深い場所に、アエタ族の村があります。自給自足の、自然と共に生活しているのがアエタ族の人々です。前回カディンちゃんの心臓の緊急手術が成功した旨、お知らせしましたが、その後、主治医の診察の結果、心臓の肥大が縮小して、ほぼ正常な大きさになってきているとのこと。本人は普通の暮らしに戻り、元気に外を駆け回っているそうです。

以前より、アエタのサンタマルタ小学校が台風で、屋根や壁が飛んだことを耳にして、子供たちが不自由しているのでは、と心配していました。そして、地域の人たちがプレハブ校舎を作りかけていたところ、政府がセメントの本校舎を建てる、と資材が運ばれてきて作業も始まったのですが、ある日、突然作業が停止、工事もストップしてしまいました。市長は「そのうちに再開するから」というばかり。結局、プレハブ校舎を続行したのですが、校舎の屋根に断熱材が入っておらず、暑くなるので、WATとして、とりあえず団扇（うちわ）を送ろうと考えているところです。つい最近、扇風機が1年から6年までのクラスにつけられたことを知りました。が、まだ入口のドア、壁、窓を作る必要があるとのこと。これらの現地の状況がフェイスブックで送られてくる動画で、瞬時に知ることが出来ます。(Instagram ngo\_nekko)

調布 WAT スペース

WAT は、1991 年に設立した「アジアの女性と子どもたちのために」誰にでもできるボランティアチームです。皆様からいただいた提供品をリサイクルショップ「WATスペース」で販売し、その収益を協力金に充てています。

提供していただきたいもの  
そのシーズンの女性の衣類 アクセサリー バッグ スカーフ  
帽子 日用雑貨 タオル シーツ 食器 など

ご遠慮させていただくもの  
大きくて重たいもの（花瓶・大皿・スーツケース）・ヒールのある靴  
男性衣類・男性バッグ・着物・スポーツ用品・電気製品・時計 など

〒182-0024 調布市布田 6-23-5  
電話：042-449-9074  
2024 年 2 月から営業・定休日・営業時間が以下のように変更いたしました。

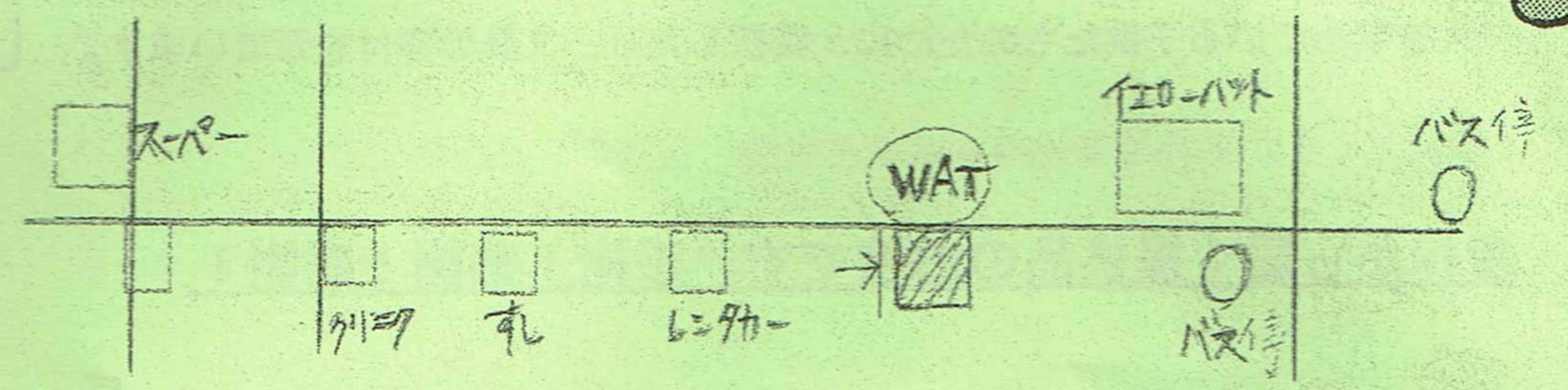
開店時間 12:00~16:00						
月	火	水	木	金	土	日・祝
/	○	○	○	○	/	/

○は営業日 /は定休日

代表：瓦林 紀子（かわらばやし のりこ）  
メール：kawaranorik@gmail.com  
郵便振替：調布 WAT 00100-8-724716  
場所：調布駅南口より徒歩 8 分。調布駅よりバスで「品川通り上布田」下車



調布駅南口





## WATに提供品を届けて下さる方々(一部)のご紹介



○ 東北の方(80代)へニュースをお送りしているのですが、部数を増やしてほしいとのこと、その訳は老人会で広めてくださっているからなのです。

○ フィリピンの子供たちが英語を学ぶために、A4の裏紙に4本線をひき、半分に折ってB5のノートを作っています。ある方から110冊届きました。



○ 編み物が大好きな方(80代)から、ピンク・ブルーなどきれいな色のアクリルたわしや、ソックスカバーなどもどんどん頂いています。

○ 四国の母上の残された着物の生地を使って、表と裏の彩りも素敵なひも付きの大・中・小の巾送っていただいております。



○ 33年前、駅前広場でバザーをしていた時、売り子のボランティアをされていた青年が、今はお父さんになられ、娘のバッグを出してくださいました。

○ WATの初期のこと、販売する品物がなく、連絡頂く度に、ご自宅まで車で伺いました。遠路、報告会にも参加していただき、その後も絶え間なく、カンパやお手紙が同封され、WATの活動を永らく支えていただいています。



○ 1年に1回、自転車の前後にあふれるほど提供品を集めて運んでくださる男性がいます。真新しい食器や文具等、どんなにか重たかったことでしょう。

○ 夏のボランティア体験の時、アエタのことを知って、高校生の方が、英語を学んでいる子供たちのために、英訳したり、文具の寄付をしています。



皆様から届く提供品のお陰です。感謝！感謝！感謝！



## ② 青少年の居場所キイトス 120,000円

キイトスでは、様々な事情を抱えた子どもや若者のために、居場所支援・食事支援・相談支援・学習支援をしています。若い世代の子ども達やスタッフが多いキイトスでは、スマホが欠かせなくなっているようです。ニュースレターも紙媒体だけでなく、SNSを開設したとお知らせがあり、Instagramをアップしてみました。ボランティアの方が、ちょこちょこ日常のひとこまを知らせてくださり、行事はもちろん、部屋の飾りつけ、学習、遊び、夕食メニュー、大掃除など、メッセージ付きで見ることができ、子供たちがのびのびと過ごしているのが伝わってきます。(Instagram npo\_kiitos)



## ③ 二葉学園 児童養護施設 100,000円

毎年12月にクリスマス会へのご招待を受けています。大きな会場に、子ども立ち、担当者、ボランティアなどがテーブルを囲みました。33年前に設立したWATは、当時二葉学園と同じく、お互い野外でのバザーをして資金稼ぎをしていました。その時入職されていた方が、現在の施設長です。当時の職員は23名、現在76名とのこと。内容も、グループホーム形式となり、内容も変化し、ボランティアも増え、お小遣いも増額されてきているようです。



## ④ 社会福祉協議会 福祉まつり 37,900円

10月、小地域交流事業「布田わくわく広場まつり」に参加し、WATはリサイクル品を販売し、福祉まつりへの協力金としました。会場が「心の健康支援センター」なので、作業所での製品、個性あふれる舞台や製作品など、地域の老若男女800人の参加者があり、活気あふれる一日でした。